拔刀巡査に斬殺された
川崎造船所職工の團葬
神戸の勞働者二萬五千人は悲痛の色を浮べつゝ會葬した

七月廿九日東出町の川崎造船所通路で川崎罷業職工の神社參拜團が警官隊と衝突した際拔刀警官の爲めに右背部を抉られ四日正午大國病院で絶命した川崎造船所職工常峰俊一の葬儀は三菱川崎兩爭議團の團葬で六日午後二時水木通りの自宅出棺春日野火葬場で荼毘に附する事となつた

菜葉服に黑の喪章
續々附近の校庭に參集

此日川崎三菱兩爭議團では最高幹部數百名が葬儀委員長池田武夫保安委員長鈴木龍三整理委員長和田男治氏等の指揮の下に菜葉服に黑の喪章を着け日本で始めて催す勞働團體葬を立派にやつてのけて勞働者階級の意氣を示さんものと奔走に努め徒歩會葬勞働者は正午頃から水木通の常峰の自宅附近に續々集まつて川崎兵庫分工場の職工連は水木小學校の校庭に川崎本社の職工連は守道小學校の校庭に三菱造船所、同内燃機、同電機製作所の職工連は縣立工業學校の校庭に集團した會葬者無慮二萬數千名さしもに廣い大開通りも身動きもならぬ大雜沓で午後一時前後になると友愛會神戸聯合會關西勞働同盟會友愛會各支部大阪向上會大阪造船勞働組合を始め阪神地方數百の組合旗が町の兩側にツラリと列んだ

組合旗を先頭に
葬列は十數丁に亘る

軈て定刻の二時になると常峰の宅では出棺の讀經が終り悲哀の裡に葬列が始まり一對の弔旗及び白提灯を先頭に各勞働組合から寄贈された花環數十個及び各勞働組合旗數百が之れに續き白木の柩はシヅ〳〵と行進を始める、後からは弟の福次を始め親戚次に友愛會長鈴木文治氏松岡同理事山崎赤松各法學士、木村大阪聯合會主事等數百の幹部連が徒歩で會葬し殿は三菱川崎各罷工團員及大阪勞働組合員二萬數千が四列に隊を組んで之に次ぎ十數町に亘る葬列は塚本通りの友愛會聯合會前を通つて本町筋を湊町の川崎爭議團本部前を過ぎ神戸驛前から本社支局前に出で宇治川筋から榮町電車道に出で、順次春日野墓地に至り十數名の僧侶に依つて懇なる讀經があつた後鈴木會長、川崎三菱兩爭議團大阪聯合會及各友誼組合代表者の悲痛極まる弔辭朗讀があつて燒香に移り喪主親戚各工場代表者等の燒香があつて午後四時日本における最初の勞働團の團葬は極めて靜肅に執行され終つた、此の葬列の通つた沿道は市民到る所に人垣を作り同じ菜葉服でも前日の示威行列とは違つて參列者は何れも悲痛の色を浮べて居たので市民の同情は非常なものであつた

飽まで第三者の調停を拒む
三菱は言語道斷
攻撃的投書が澤山來てゐると
有吉知事は語る

神戸三菱工場の就職希望職工に對し會社側に工場委員制度、解雇手當增額、八時間勞働制度を必ず實施せしめるやうに努力すべく保證を與へた有吉兵庫縣知事は此保證聲明を一刻も速に實現するやう種々考究中であるが之につき知事は語る

三菱會社側の發表に依ると飽までも第三者の調停を拒絶すると主張して居るが同社と職工の爭議から延いて今日の如く社會公安上に多大の影響を與へながら尚第三者の調停を拒絶するといふのは言語道斷である同社がかゝる態度を持するについては私の手許へも多數の攻撃的投書が來て居る私が同社に對して是非共私の保證通り實行せしめる決心で先づその第一着手として工場委員制度を實行せしめなければならぬと之に關する案を研究して居る、六日友愛會幹部員が三菱職工二十四五名と共に訪問した際私が會見を拒絶したのは私の聲明に對して質問したいと不穩の態度を示したのみならず會見を申込んだ松岡、山崎某等は三菱の職工でなく友愛會の幹部で直接利害關係を持たぬものと認めた結果であつて眞に直接の利害關係ある職工のみが適當の順序に依り會見を申込むならば私は決して會見を拒絶しない

勞働爭議の犧牲者
收監者既に百十名に上る

神戸に勞働爭議勃發して以來今日迄に騷擾、脅迫、又は治安警察法違反の廉で市内各署に檢束された人員は收監者百十名警察及び檢事局で取調中の者二百二十五名で其他檢束者は三百六十名に達して居る

大阪控訴院檢事長神戸へ
檢事局で密議

常松大阪控訴院檢事長は神戸勞働爭議騷擾事件に關し六日午前十一時三橋同院次席檢事と共に神戸檢事局に光行檢事正を訪ひ該事件の經過を聽取し午後は檢事局で該事件に關し密議を凝した

爭議演說は七日

昨紙朝刊記載友愛會「爭議批判演說會」記事中六日午後六時とあるは七日午前十一時の誤りにつき訂正す

◆大曰く「勞働爭議は夫婦喧嘩だ、だから僕は敢て喰はうとしないのだ」